

母と子の放射能の話

—未来のために今できること—

講師：小出 裕章 氏

(元京都大学原子炉実験所助教・日本保健物理学会所属)

1949年東京生まれ。原子力の平和利用を志し、1968年に東北大学工学部原子核工学科に入学。しかし、原子力を学ぶことでその問題性と危険性に気づき、以来40年以上にわたり「原子力利用を止めさせるための研究」を続ける。放射能の被ばくについては、特に若い世代、乳幼児・幼児への影響を危惧されており、大学を退職された現在も全国各地での講演活動で多忙の日々を送られている。



2011年3月の東京電力福島第一原発事故から4年以上が経過しました。あの事故から私たちの生活は様々な場面で放射能が切り離せないものとなりました。チェルノブイリでは事故から約30年経った今でも健康被害が続いています。もう4年？まだ4年？親として、子どもの健康をどう守るか、今できる事を一緒に考えてみませんか？

日時：9月26日(土) 14:00 開演/13:30 開場

会場：朝霞市中央公民館コミュニティセンター・3F ホール
(朝霞駅南口下車徒歩7分)

参加費：500円(小・中・高校生 無料、一人参加可)
保育あり(要申込 保険料100円)

申込先：ひまわりの会アドレス(himawari_asaka311@yahoo.co.jp)
事務局(携帯：080-8030-4808)

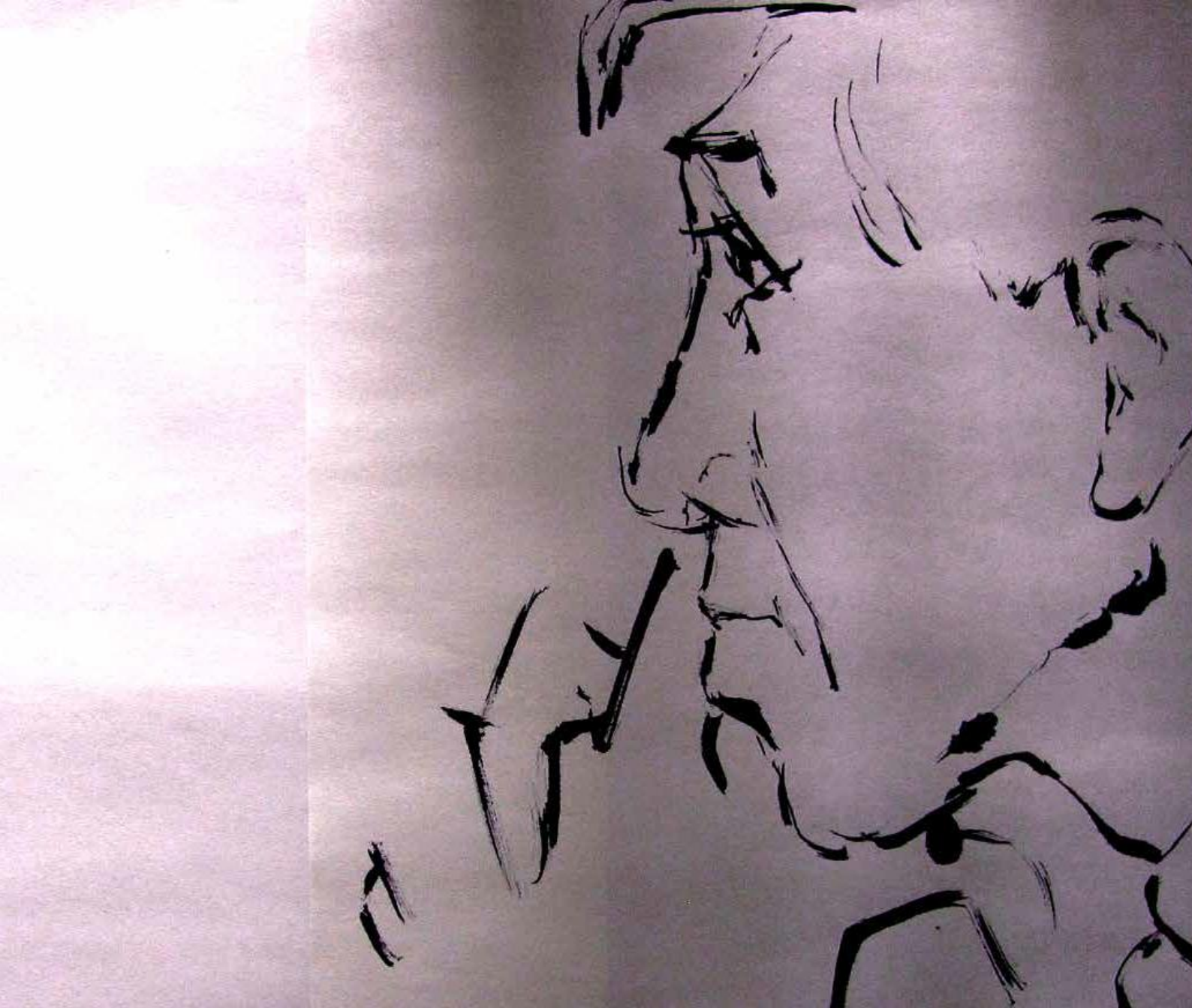
※参加される方はいずれかの連絡先に名前、年齢、住所、電話番号をお知らせ下さい。

参加者：朝霞・志木・新座・和光市民・勤労者優先

主催：ひまわりの会—朝霞・和光・志木・新座—(代表：杉山)
(ホームページ <http://himawari-asaka.jimdo.com/>)

後援：朝霞市教育委員会、和光市教育委員会、
志木市教育委員会、新座市教育委員会





未来の子どもたちに問われる…
あの時代にお前たちはどう生きたのか

(「Koide Blue」イコマレイコ著 より)